

市場移転に関する関係局長会議

平成29年7月21日

市場移転に関する関係局長会議(6月22日) における知事の指示内容

- 豊洲市場への早期移転に全力で取り組むこと
- オリンピック・パラリンピックに向けた、環状2号線や輸送拠点整備について、関係機関との調整を進めること
- 築地のロケーションを最大限に活かした再開発に向けて、夢のある姿を導き出すこと

豊洲市場への移転に関する基本スタンス

「基本方針」の主旨は、“豊洲と築地の両方を活かす”

1 豊洲市場について

- 豊洲市場への早期移転を円滑に行うことを最優先事項とする。
- 豊洲市場は、継続的に中央卸売市場として運営していくとともに、日本の中核市場として育てていく。
- 移転後は、千客万来施設も含め、市場業者の方や地元の皆様とともに、豊洲地区の賑わいを創出していく。

2 築地再開発について

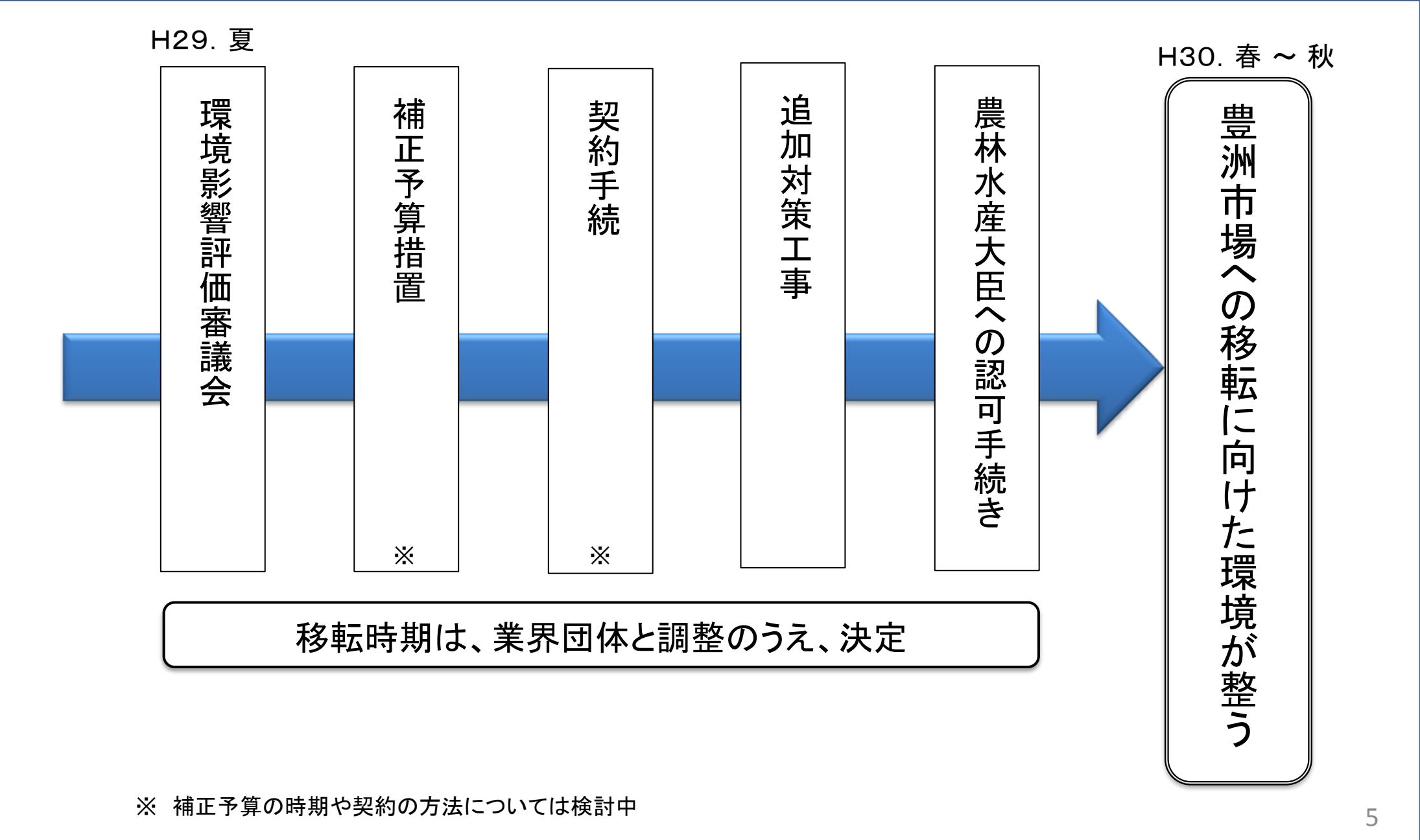
- 再開発に当たっては、築地エリアが有する食文化、浜離宮、水辺といったポテンシャルを活かして、多様な観点からまちづくりを検討し、経済合理性を確保しつつ民間主導で進めていく。
- 今後、幅広く都民や民間からのアイデアを募集するとともに、豊洲へ移転した後の状況も踏まえながら、ステップを踏んで検討する。

1 築地市場の豊洲市場への 早期移転の円滑な実施

～豊洲市場への早期移転に全力で取り組むこと～

1 築地市場の豊洲市場への早期移転の円滑な実施

豊洲市場の開場に向けたスケジュール・イメージ



①環境アセスメント手続き

- ・8月中旬までに、中央卸売市場から環境局に変更届提出

[内容] 事業計画の変更(主要建築物下で盛土を地下ピットに変更、コンクリートによるガスの侵入低減、地下水管理システムの機能強化など)に伴う環境影響予測・評価等

- ・変更届提出後、既に提出された評価書の結論に比べ「環境に著しい影響を及ぼすおそれ」があるかを判断し、速やかに環境影響評価審議会を開催

②補正予算の措置

- ・専門家会議の提言に基づく追加対策工事や開場に向けた移転準備に必要な経費等の補正予算を議会に諮る必要

③「無害化」への対応

- 都議会における付帯決議により、「無害化＝環境基準以下」を約束(平成22年3月)
- 第9回地下水モニタリングの結果(H29年1月～3月)により、201か所中72か所で環境基準値超過(ベンゼン79倍など)
- 専門家会議は、以下の対策を提言。これにより、①盛土があれば果たされるはずだった機能を確保し、②汚染地下水を徐々に回収し、地下水汚染を徐々に浄化
 - (1) 地下ピット対策(換気と底面の防護)
 - (2) 地下水管理システムの機能強化



しかし、環境基準以下を目指すことは難しいとの見解

現場を担う市場業者の皆様や都民の皆様に対し、約束を守れなかったことを知事が陳謝
(H29.6.1 平成29年第二回都議会定例会 ・ H29.6.17 知事の築地市場訪問)

豊洲市場用地の土壤汚染対策に係る「無害化」に代わる新たな方針

- 環境基準を達成できていない現状を真摯に受け止め、その反省を踏まえたうえで、安全で安心な市場の実現に向け、専門的・科学的で妥当な対策を講じる。
- 追加対策工事の着実な実施により、地上の安全に万全を期する。
- 地下水管理システムの適切な運用により、地下水位を管理するとともに、同システムの揚水機能を発揮し、中長期的に水質の改善を図る。
- 専門家会議の助言に基づき、地上部の大気や地下水の水質を測定し、正確な情報発信を通じて、都民や事業者の理解と安心に繋げていく。

都議会に対しても理解を求めていく必要

④追加対策工事の実施

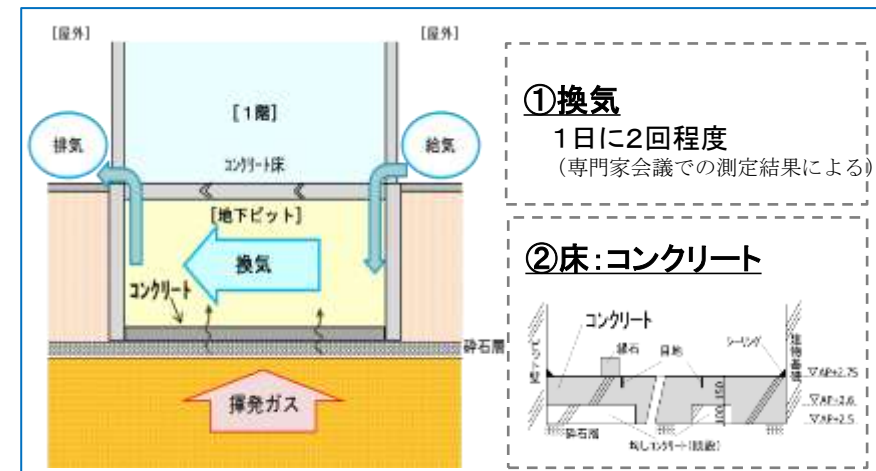
- 補正予算成立後、速やかに契約手続きに入る
- 契約締結後の工事期間は約6か月
- 工事完了時、専門家会議による確認を実施

地下水管理システムの機能強化

- 揚水井戸の洗浄・ポンプ交換
- 揚水ポンプの新設
- 観測井戸での揚水
- 真空ポンプによる強制揚水

地下ピットにおける対策

- ①換気により、ガスの濃度上昇を防止
- ②コンクリートにより、ガスの侵入を低減



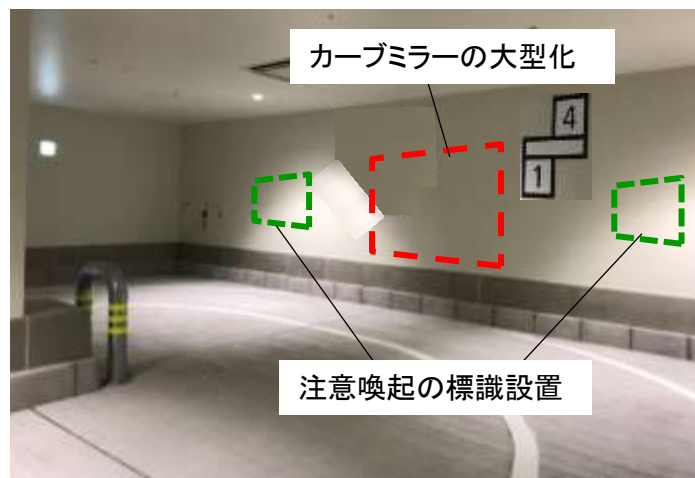
⑤農林水産大臣認可申請

- ・追加対策工事等の進捗を踏まえ、円滑に認可が得られるよう調整を進める。

⑥施設の使い勝手向上策

- ・6街区 ターレスロープ⇒カーブミラーの大型化・注意喚起の標識設置を検討
- ・6街区 車両出入口のカーブ⇒車両動線の改善について検討
- ・豊洲市場への交通アクセスの向上に向けて、検討・調整を進める。

6街区ターレスロープ



(イメージ図)

6街区 車両出入口



- -> 車線①: 東側ランプウェイへの入場
- -> 車線②: 東側積込場及び北側積込場への入場
- -> 車線③: 東側ランプウェイからの退場

⑦豊洲市場の風評被害払拭に向けた取組について

豊洲市場への移転・開場に向け、豊洲市場の実態を正しく伝えて誤解を解消するとともに、新しい市場としての機能を含めた魅力を積極的に発信していく。

○豊洲市場を多くの人に直接観てもらう

- ・定期的な都民向け見学会の開催
- ・親子向けなど趣向を凝らした見学会の開催
- ・市場関係団体と連携した出荷者向け見学会の開催

○豊洲市場に関するデータをフルオープンにしていく

- ・誰もが知りたい情報を多言語で発信
- ・科学的データについて分かりやすく解説し発信
- ・市場内掲示やホームページ等を活用し、大気や水質の測定結果等の「見える化」を推進

○産地から消費者まで対象別に効果的なPRを実施

- ・産地・出荷者に対する説明会等戦略的な情報発信
- ・消費者が関心の高い情報をツイッター等で発信 など

豊洲市場 都民向け見学会
(H29.6.14実施)の様子



⑧豊洲地区のにぎわい創出に向けた取組

- ・千客万来施設は、豊洲ならではの活気やにぎわいを生み出す、豊洲市場にとって必要な施設であり、施設の整備に向けて、事業者との調整を精力的に進める。
- ・江東区が管理する豊洲ぐるり公園と一体的に屋上緑化広場を開放するなど、にぎわい創出に向けて様々な取組を検討していく。



千客万来施設予定図



豊洲ぐるり公園



6街区 屋上緑化広場

2 東京2020大会に向けた準備の 推進

～オリンピック・パラリンピックに向けた、環状2号線や輸送拠点整備
について、関係機関との調整を進めること～

2 東京2020大会に向けた準備の推進

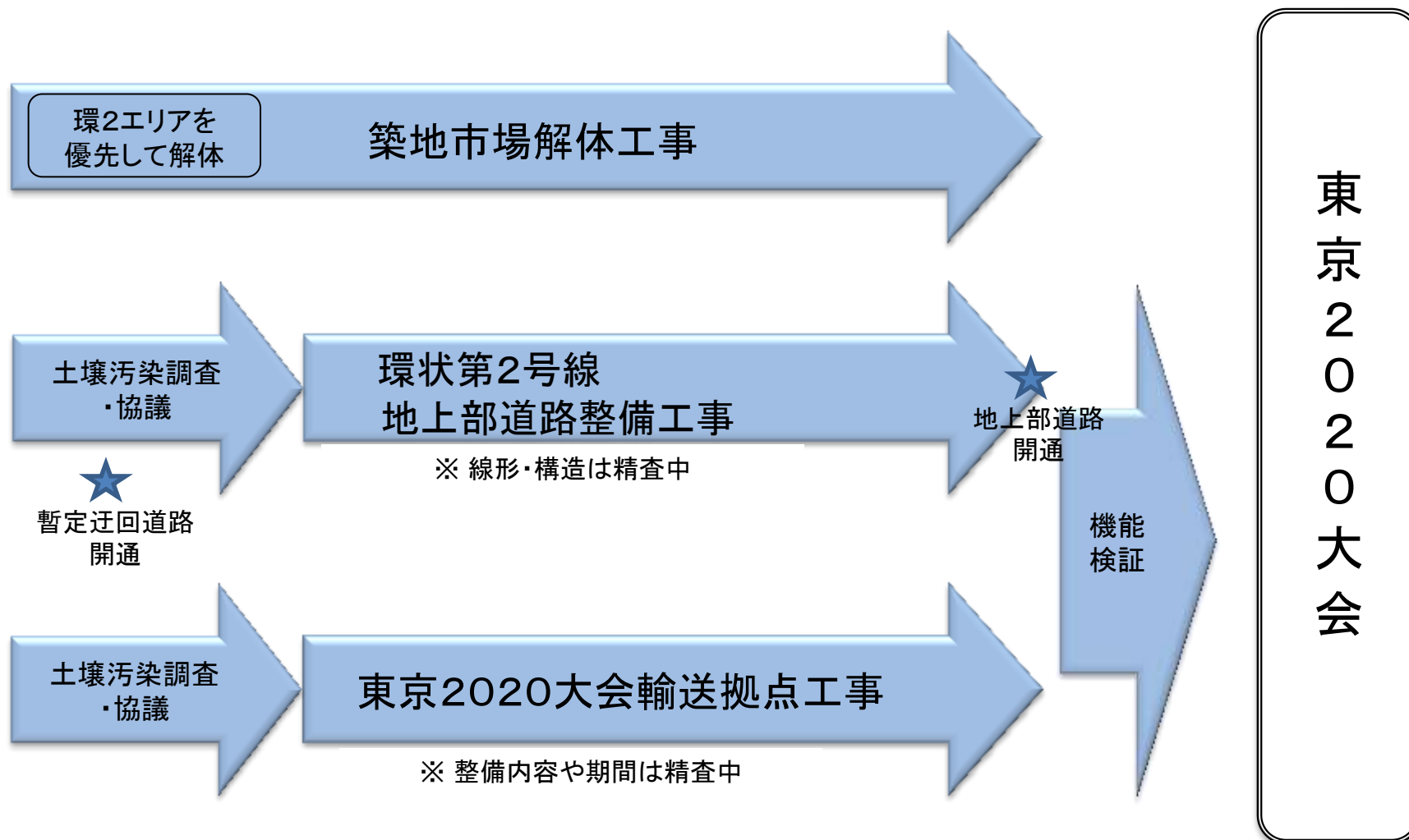
築地市場跡地の東京2020大会開催に向けた整備想定スケジュール・イメージ(解体・環2・輸送拠点)

H30. 春～秋

H32年3月

H32年7月～9月

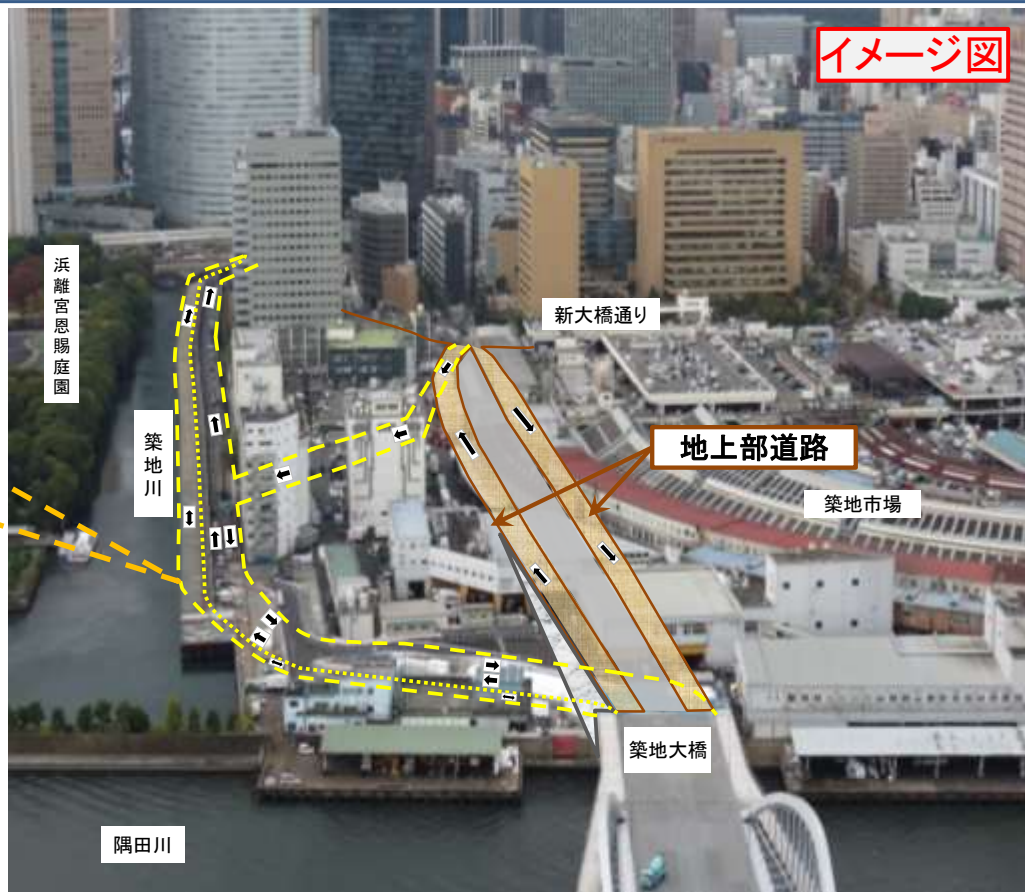
築地市場の豊洲市場への移転



① 環状第2号線(地上部道路)の大会前の開通に向けた取組

- ・平成31年度末を目途に、環状第2号線(地上部道路)の整備を完了させる。
- ・市場の移転時期や、その後の解体工事などの状況を踏まえ、道路線形や構造などを検討する。

環状第2号線 地上部道路イメージ図(平成32年夏)



市場移転の完了後、速やかに暫定迂回道路により開通

※道路線形や構造は今後検討

② 築地市場跡地の大会輸送拠点としての整備に向けた調整

- ・築地市場の跡地については、東京2020大会の輸送拠点として活用する。
- ・市場の移転時期や、その後の解体工事などの状況を踏まえ、今後、具体的な整備工程について詰めていく。

【大会輸送拠点のイメージ】

※リオ大会の事例



ドライバー用食堂



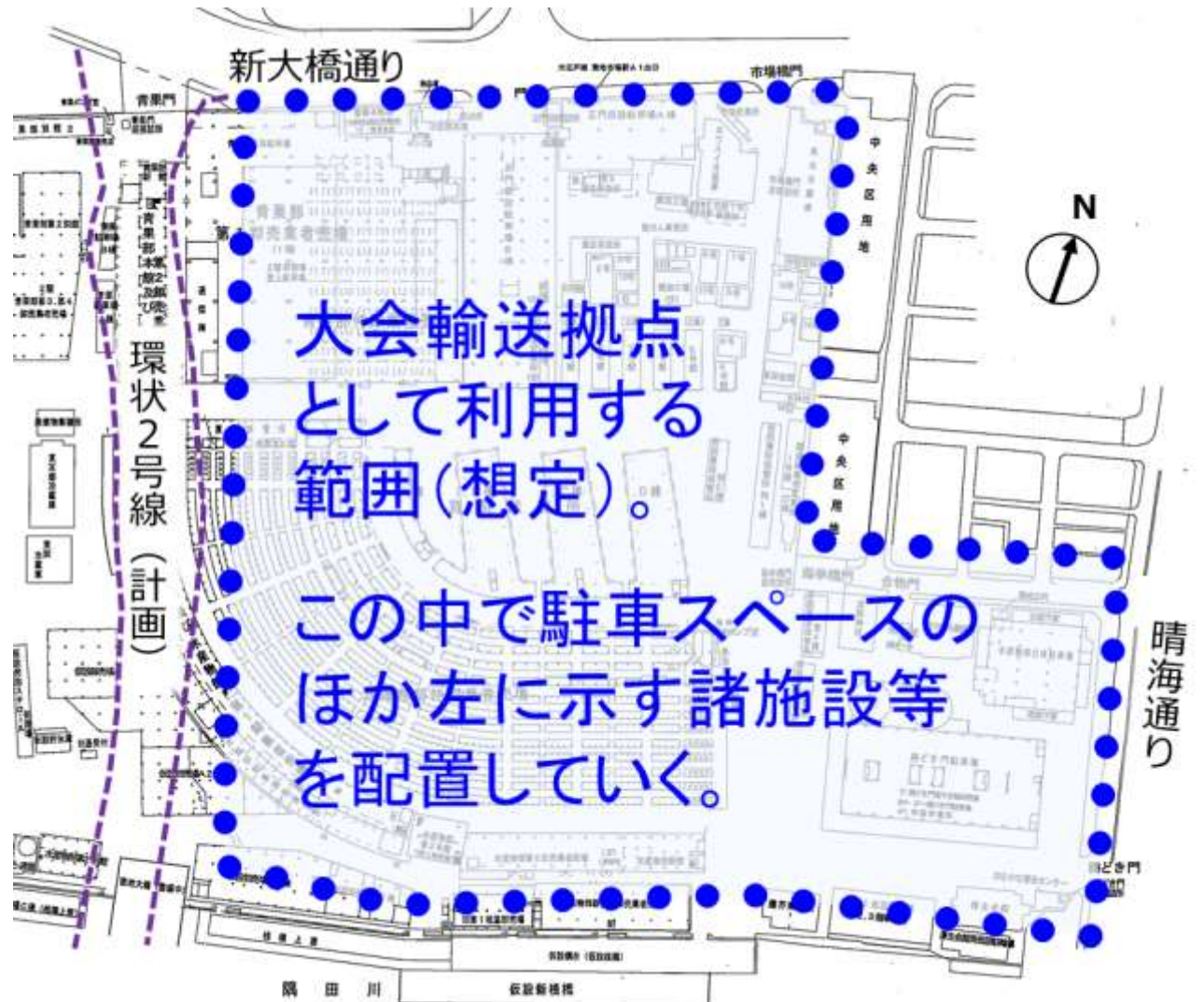
チェックインカウンター
(ドライバー)



給油施設



洗車施設



3 築地の再開発に向けた検討

～築地のロケーションを最大限に活かした再開発に向けて、夢のある姿を導き出すこと～

3 築地の再開発に向けた検討

- 築地市場の跡地は、市場会計の持続可能性を担保するため、経済合理性を確保しながら、民間主導により、再開発する方向で検討を進める。
- 将来、築地に戻ることを希望する仲卸業者に応えるための方策に関する検討を、豊洲市場移転後の状況を踏まえながら行う。
- 築地のロケーションを最大限に活かすため、場外市場や浜離宮などの周辺環境を含めた一体的な活用など、魅力ある築地の将来像を検討するとともに、都民から広くアイデアを募り、民間の知恵やノウハウを活用しながら、豊洲市場の千客万来施設事業との整合を図りつつ、開発コンセプト等を具体化していく。

<築地の持つ地域特性やポテンシャル>

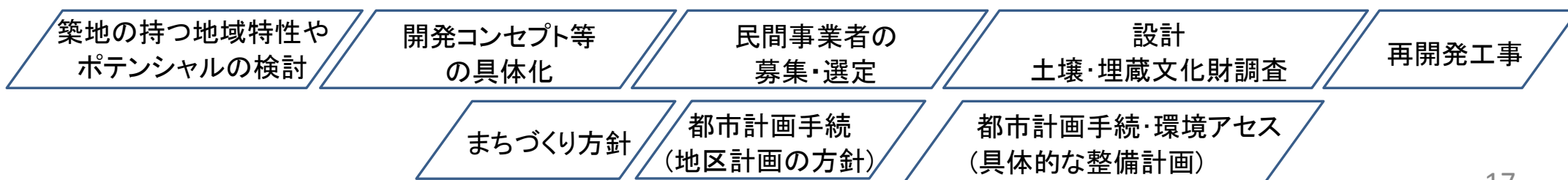
長年培ってきた食のブランド力

隅田川・築地川などの水辺

浜離宮などの地の利

銀座や都心への近接性

[進め方]



4 豊洲市場移転・築地再開発全体の財政収支の観点からの検討

- 市場会計が長期にわたり事業継続性を確保できるよう、
財政面からの精査を進める。
- 企業債の返済を着実に行うとともに、当面の経営改善策を
着実に実施し、コスト削減と収入確保に取り組む。
- 築地再開発では、都心の好立地というメリットを最大限活かし、
採算性をしっかり確保できる再開発となるよう、検討する。